

# 八鹿病院ニュース

公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。』

平成19年1月 発行／八鹿病院広報委員会 <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp/>

## 新年のご挨拶



養父市長 梅谷 馨

新年あけましておめでとうございます。ご家族おそろいで新しい年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

病院運営につきましては、日頃からご理解をいただいておりますこと厚くお礼申し上げます。

さて、昨今の医療改革は益々進み大変厳しいものとなっています。それに加え医師不足は深刻になり、当院におきましても平成15年に比べ8名の医師の減です。また、平成18年からは小児科・脳神経内科・耳鼻咽喉科等一人体制の診療科となるなど深刻なものとなっています。

このような状況を踏まえ、但馬医師確保対策協議会が設立され、但馬の医療を確保するためには、各病院の機能分担や連携を図り安定的・継続的な医療体制をどうすべきかを検討しているところです。

次に、病院建築ですが外来棟、検査科、画像診断科等すべての移転が完了いたしました。あとは旧施設の取り壊しを行い玄関の整備、駐車場等外構工事を行い平成19年8月末には全ての工事が完了予定です。いましばらくご不便をおかけしますがお許しいただきたいと思っております。

景気は回復しているとは申しましても、行財政の厳しさからは脱出できません。病院経営につきましても同じ事がいえると思っております。この時期こそ英知を出し合い、お互いが協力し、納得のいく経営に心がけなければなりません。慣例にとらわれることなく、新しい手法での考え方の基、経営手腕を発揮したいと考えています。皆様方のご協力をお願いいたします。

今年一年が健康ですばらしい年になりますことをお祈りし挨拶といたします。



## 新年のご挨拶



院長 岩井 宣健

あけましておめでとうございます。

昨年は紅葉や初雪の訪れが例年に比べて大きくずれて、なにかしら季節のリズムが狂った感じでした。私たちは、地球環境の変化に無関心ではいられなくなりました。

皆様のご多幸を祈念申し上げます。

八鹿病院の建設事業は、昨年12月に新病院が完成し、これからは残っている古い建物を取り壊し、駐車場を整備し今年の9月に竣工の予定です。新病院には多くの最新の医療機器が導入され、これからの新しい医療に対応できる環境が整いました。

次に、今年1月よりカルテ（診療録）を電子カルテに切り替えます。今までは、患者さんの情報は紙に文字で記録され、保存されていましたが、電子カルテでは情報がコンピューターに保存されます。これにより過去のデータをすぐに取り出し、多くの情報を患者さんに提供できる、複数のチェックで医療の安全性が高まるなどの多くの利点がありますが、欠点としては、情報の入力に時間がかかるため診察時間が長引くことです。短縮化への努力を致します。

今、但馬の医療環境は急激に変化し、それぞれの医療機関では、業務内容や医療提供体制のあり方などについての見直しが迫られています。私たちは、地域中核病院としての役割を果たせるように医療環境を整え、病・病、病・診連携の強化を図りながら、地域医療に邁進してゆく所存です。

何かと難しい局面ですが、医療の後退のないように職員一同頑張りますので、何とぞご理解賜りたく存じます。



# 電子カルテについて

八鹿病院建築に併せて、平成19年1月より、患者さんのカルテ記載を、紙カルテから電子カルテへと移行します。電子カルテは、パソコンに入力したことが、電子的にコンピュータへ記録、保存されます。また今回の電子カルテ導入に伴い、多くの医療機器を電子カルテと接続し、入力すると同時に検査やレン

診療のご案内			10:10
診察室名	担当医師名	診察室前でお待ちください	
内科 1 診	中崎 博文	016	020 017 019
内科 2 診	三宅 孝典	010	013 021 023 000
内科 3 診	片山 寛	ただいま休診しています	
内科 4 診	近藤 清彦	105	106 109
内科 5 診	田中 良直	本日の診察は終了しました	

外待ち表示



受診受付機 (受付中)

トゲンへ、コンピュータを通して指示が伝わるようになります。医事課前には、診察受付機を設置することにより、患者さんが来院された情報が、いち早く各診療科へ伝わるようにしました。外待ちや

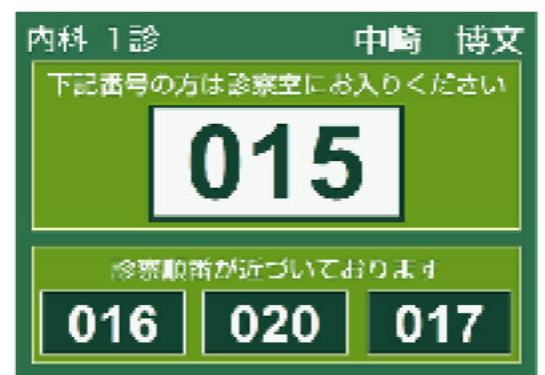
中待ちには診察案内番号を表示するようにしました。このように多くの診療情報が、人の手を介さずに伝わるため、“患者さんの待ち時間が短くなる。”と考えています。

電子カルテ導入は、いま医師不足の八鹿病院において、病院職員のチーム医療を支え、病院の基本理念の質の高い医療を患

者さんに提供する一つの手段と考えています。この新しい取り組みに対して、医師をはじめとする職員は、なんども操作訓練していますが、十分なれておりません。従いまして不慣れな操作のため来院された患者さんには、ご不便、ご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞご理解をいただきますようお願いいたします。



受診受付機



中待ち表示 (診察中)

## 施設課・防災センター紹介

近年、建築物の大規模化や、再開発・建物の複合化等により消防設備の総合的な監視制御を行う必要が出てまいりました。

防災センターは、消防法による防火対象物用途により、病院建築物では5階建て以上で20,000平米を越える建物に設置義務があります。

八鹿病院は、11階建ての高層建物であり、延べ面積約34,000平米という規模で設置が義務づけられました。



但馬地方では、当八鹿病院と豊岡病院に設置されております。

防災センターは、病院西側2階の端の施設課内に設置されています。

センターには、「防災センター

要員」の資格をもつ職員や委託職員が24時間体制にて防災設備の監視を行い、非常時に備えています。

主な設備は、自動火災報知設備という熱や煙を感知し火災を知らせる設備や火事の際、自動で水を噴出するスプリンクラー設備・屋内消火栓設備・非常時の放送設備・ガス漏れ警報設備・機械室の油火災を消火するN2消化設備・排煙設備等があります。また、火災時直接消防本部に連絡できる通報装置も設置してあります。

その他に、エレベーター、エスカレーターの運行管理・電気錠システム管理・医療ガス設備の監視盤・モニターTV等があります。

当八鹿病院は、火災や地震等災害に対し、十分配慮した建物となっております。

消火設備や警報設備は、最新の設備はもちろんの事、地震に対しては、「免震構造」となっており、阪神大震災程度の地震でも建物倒壊しない病院です。安心してお越しくください。

尚、安全には十分配慮し、監視を行っていますが、万一、非常時の節は御来院の皆様のご協力をよろしく願います。

### 患者様の権利に関する宣言

公立八鹿病院職員一同は、医療の中心は皆様であり、医療が皆様との信頼関係に成り立つことを認識して、「患者の権利に関するリスボン宣言」に従って、皆様に次のような権利と責任があることを確認します。

1. 良質な医療を受ける権利……差別されることなく、良質な医療を受ける権利があります。
2. 選択の自由の権利……医療機関や医師を自由に選択し、また、変更する権利があります。
3. 自己決定の権利……十分な説明のもとに、自分自身の治療を決定する権利があります。
4. 情報を得る権利……医療上の全ての自己情報を知る権利があります。
5. プライバシーなどの機密保持を得る権利……治療で医療従事者が知り得たすべての個人のプライバシーの機密保持を得る権利があります。
6. 人間の尊厳を得る権利……尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるための、あらゆる可能な助力を受ける権利があります。
7. 療養や健康についての教育を受ける権利……皆様には健康についての教育や、疾病の予防や早期発見についての教育を受ける権利があります。また、出来るだけ健康的な生活習慣を身につける責任があります。